

「メンタルヘルスと労災：過労型うつ病・PTSD」



9/9(金) 18:00~20:30 於 ベルサール八重洲

低迷する日本経済において、職場における過重労働は大きな問題となっています。それが引き金となる過労型うつ病やパワハラによるPTSDを称する社員等、労災問題に発展し企業側の責任を問われる可能性が多くなっています。

そこで、今回のワークショップでは精神科産業医である大野孝浩先生に現場の実情についてお話をいただきます。また、人事・総務マネジャーの経験も深く、メンタル対策に詳しい社会保険労務士・行政書士もアドバイザーとして、現場で起きている実態と企業の責任について解説いたします。ご多忙中とは存じますが、万障お取り扱い合わせのうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

講師：大野孝浩先生
(労働衛生コンサルタント・精神科産業医)

進行役：前田一寿
(株式会社ロブ代表取締役社長)

アドバイザー：川端裕(行政書士)
本山恭子(特定社会保険労務士)等 予定

会費：1名5,000円
員：10社限定

会場：ベルサール八重洲 会議室

東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル
「日本橋駅」A7出口 直結(東西線・銀座線・浅草線)
「東京駅」日本橋口 八重洲北口 (JR線・丸ノ内線)

日時：平成23年9月9日(金)
18:00~20:30

※ワークショップ終了後に情報交換の場として好評の懇親会を開催致します。
お時間がございましたら是非ご参加下さい。(参加費2000円)

※テーマは変更になる場合があります。



2011年度 人事・総務責任者ワークショッププロブ 第3回 参加お申込み書

貴社・団体名	
お名前	部署・役職
ご住所 〒	
TEL：（ ） -	FAX：（ ） -
E-mail：	

大野孝浩医師プロフィール

クリニックでのうつ病等の患者から大学病院での重篤な患者まで幅広く精神科領域での臨床に従事している。これまで300例以上の休職・復職事例に携っている。

2005年からは産業医資格を取り、数多くの企業で産業保健体制構築、運営を行う。精神科領域の豊富な臨床経験と職域保健での深い経験を持つわが国でも稀有な精神科医である。

大手から中規模事業所でのメンタル不調者への対応体制、特に休職・復職プログラムの構築、実際の面談、対応、社員主治医とのコンタクト等の実務を数多く手がけている。

多くの企業の産業医として活躍中のため、企業に関する見識も深く、組織や職場の状態をよく知る医師である。長い臨床での経験は、主治医作成の診断書の行間を読み、社員に最適な対処方法を見出しうる力につながっている。

【略歴】

- 1995年 東京大学医学部医学科卒業
- 1996年 国立精神神経センター武蔵病院研修医・レジデント
- 1998年 東京大学病院精神神経科助手
- 2000年 関東労災病院神経科
- 2004年 杏林大学病院精神神経科
- 2004年4月～2006年3月病棟医長
- 2006年 医局長
- 2008年4月より精神科産業医として独立
こころのクリニック自由が丘診療所にて診療中

【資格】

- 1995年 医師免許
- 2000年 精神保健指定医
- 2005年 産業医（現在：大手企業、外資系企業等の産業医に就任）
- 2010年 労働衛生コンサルタント